

# 共通テスト 追試験

2023

## 地理 B

解答時間 60 分

配点 100 点

本問題は大学入試センターからの提供・許諾を得て教学社が再現したものを掲載しています。

本問題の無断複製・転載を禁じます。

# 地 理 B

(解答番号  ~ )

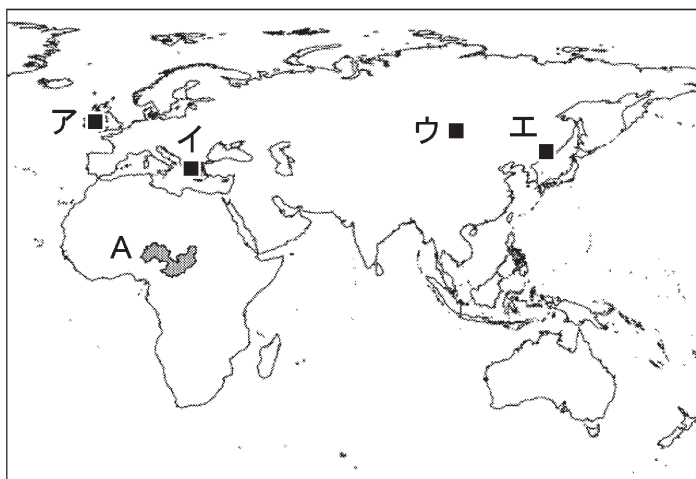
第 1 問 自然環境と自然災害に関する次の問い(問 1 ~ 6)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の表 1 中の①~④は、後の図 1 中の地点ア~エのいずれかにおける年降水量、最少雨月、最少雨月の降水量を示したものである。地点エに該当するものを、表 1 中の①~④のうちから一つ選べ。

表 1

	年降水量 (mm)	最少雨月	最少雨月の降水量 (mm)
①	837.0	1 月	13.4
②	775.2	2 月	48.2
③	375.3	8 月	2.2
④	281.4	1 月	2.3

『理科年表』により作成。



World Wildlife Fund の資料などにより作成。

図 1

問 2 次の図 2 は、図 1 中のある河川の流域 A を示したものであり、次の図 2 中の c と d を結ぶ線は、流域 A を流れる河川の主な流路を示したものである。また、後の文章は、流域 A について説明したものであり、空欄 F には、後の文力とキのいずれかが当てはまる。河川の流れる方向と空欄 F に当てはまる文との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 2

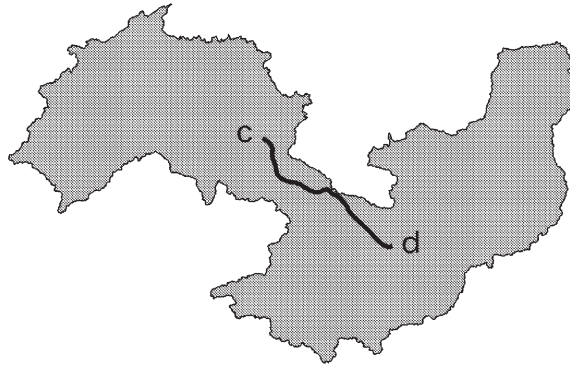


図 2

流域 A を流れる河川のように、河川が海洋には到達せず、湖や湿地に流れ込むものを内陸河川とよぶ。流域 A の下流にある湖には、雨季に上流で降った雨水が流入する。内陸河川の流域では環境問題が生じやすく、流域 A では ( F ) が問題になっている。

( F ) に当てはまる文

力 人口の急増に伴う過伐採や過放牧による砂漠化の進行

キ 地下水路を用いた灌漑農業による水資源の枯渇

	①	②	③	④
河川の流れる方向	c から d	c から d	d から c	d から c
F	力	キ	力	キ

問 3 侵食の速さは、その土地の地形や気候、地殻変動、土地利用などの影響を受ける。次の表 2 中のサ～スは、アペニン山脈、グレートディヴァイディング山脈、スリランカ高原のいずれかの地域における侵食の速さを示したものである。また、後の文 J～L は、サ～スのいずれかの地域の状況を説明したものである。サ～スと J～L との組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 3

表 2

(単位：mm/千年)

	過去数千年間の 侵食の速さ	最近数十年間の 侵食の速さ
サ	200～580	120～440
シ	15～ 21	2～ 10
ス	5～ 11	50～800

複数の流域で測定されたデータのため、値には幅がある。  
von Blanckenburg (2005) などにより作成。

- J 活断層があり、山崩れが発生することがある。
- K 地殻変動は活発ではなく、森林伐採が進んでいる。
- L 地殻変動は活発ではなく、森林に覆われている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
サ	J	J	K	K	L	L
シ	K	L	J	L	J	K
ス	L	K	L	J	K	J

問 4 次の図 3 は、熱帯付近の海域を示したものである。また、後の図 4 中の①～④は、図 3 中の P～S のいずれかの海域における、熱帯低気圧の移動経路と主な移動方向を示したものである。海域 R に該当するものを、図 4 中の①～④のうちから一つ選べ。 4

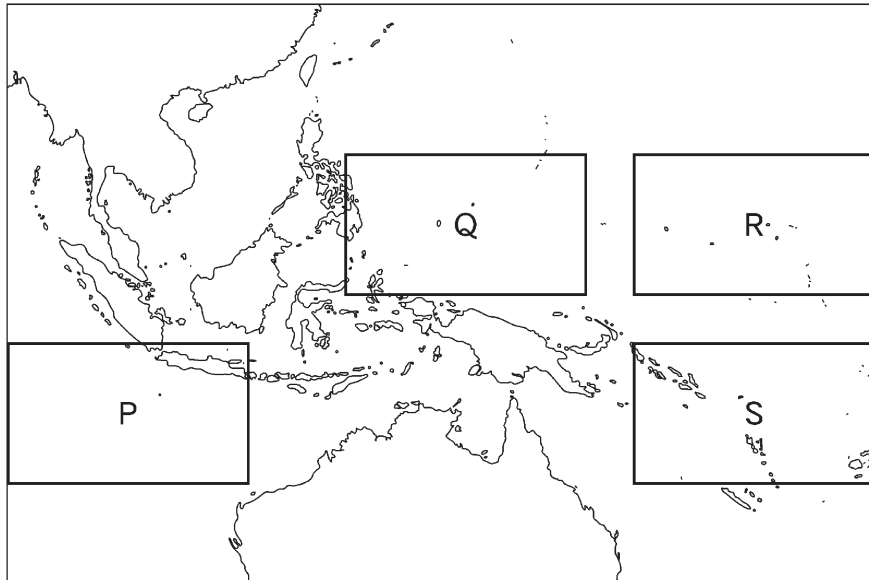
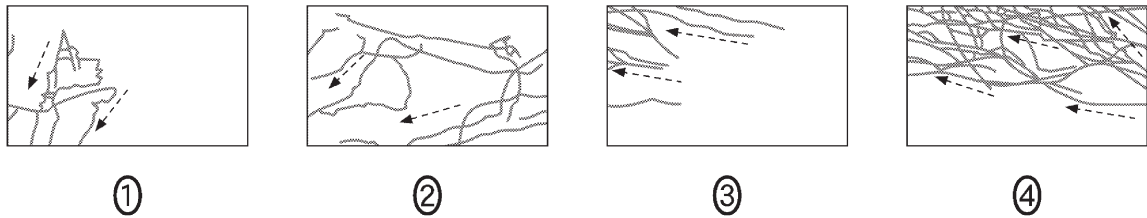


図 3



熱帯低気圧の移動経路を実線で、主な移動方向を矢印で、それぞれ示している。期間は 2017～2019 年。気象庁の資料などにより作成。

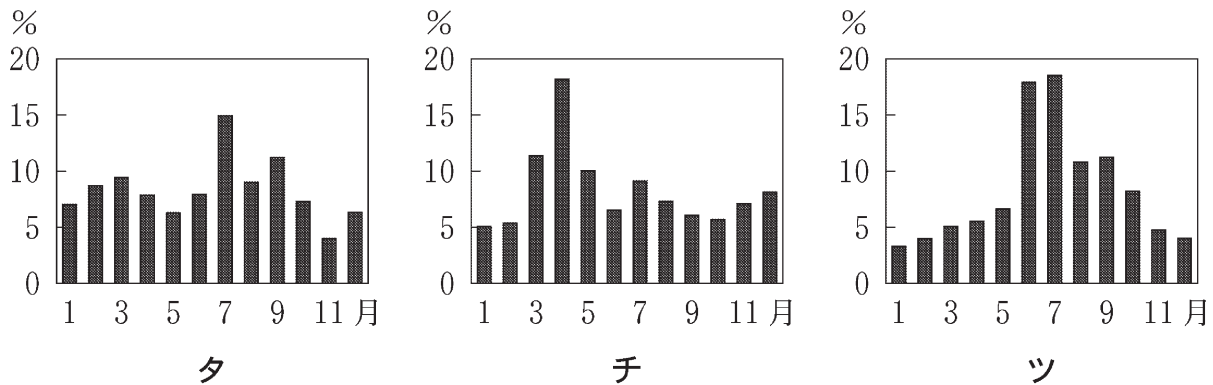
図 4

問 5 次の図 5 中の地点 X ~ Z は、いくつかの主要河川の流量観測地点を示したものである。また、後の図 6 中のタ ~ ツは、図 5 中の X ~ Z のいずれかの地点における月平均流量の年変化\*を示したものである。X ~ Z とタ ~ ツとの正しい組合せを、後の① ~ ⑥のうちから一つ選べ。 5

\*各月の平均流量の合計を 100 % とした。



図 5



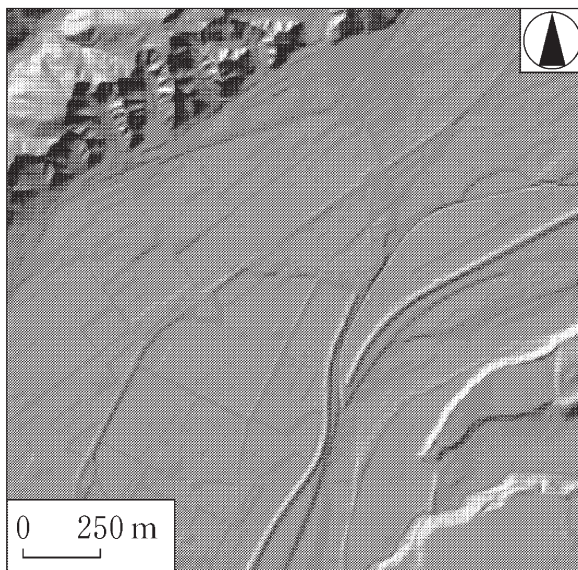
2010~2019年の平均値。国土交通省の資料により作成。

図 6

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
Y	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
Z	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

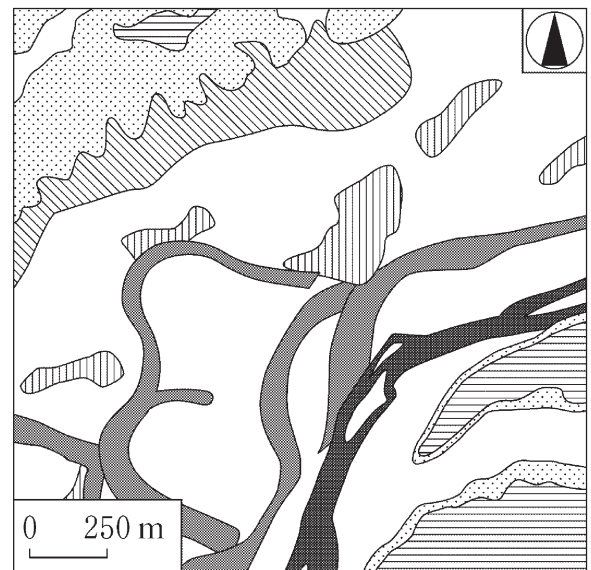
問 6 次の図 7 は、日本のある地域について陰影をつけて地形の起伏を表現したものであり、図 8 は、図 7 と同じ範囲の地形を分類して示したものである。図 8 中の凡例マ～メは、旧河道、自然堤防、扇状地\*、台地・段丘のいずれかである。また、後の文①～④は、マ～メのいずれかにおいて豪雨時に想定される危険性についてそれぞれを比較して述べたものである。凡例メの危険性について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 6

\*崖崩れの堆積物による地形を含む。



国土地理院の資料により作成。

図 7



国土地理院の資料により作成。

図 8

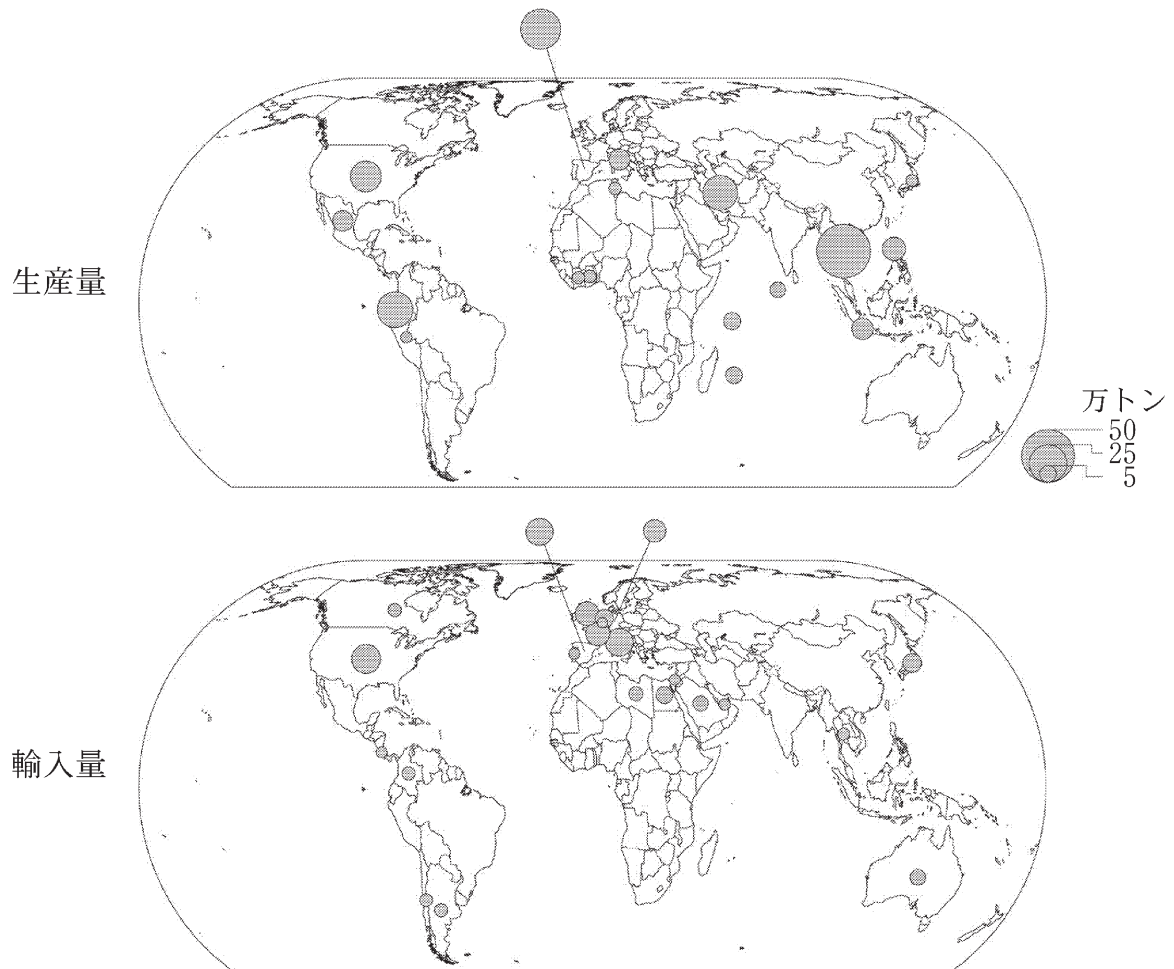
- ① 一部で浸水の危険性はあるが、土砂災害の危険性は低い。
- ② 一部で土砂災害の危険性はあるが、浸水の危険性は最も低い。
- ③ 浸水の危険性は最も高いが、土砂災害の危険性は低い。
- ④ 土砂災害の危険性は最も高いが、浸水の危険性は低い。







問 2 次の図 3 は、カツオ・マグロ類を使用したツナ缶詰の生産量と輸入量について、世界に占める割合が 1 % 以上の国・地域を示したものである。図 3 に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、最も適当なものの一つを選べ。 8



統計年次は 2018 年。FAOSTAT により作成。

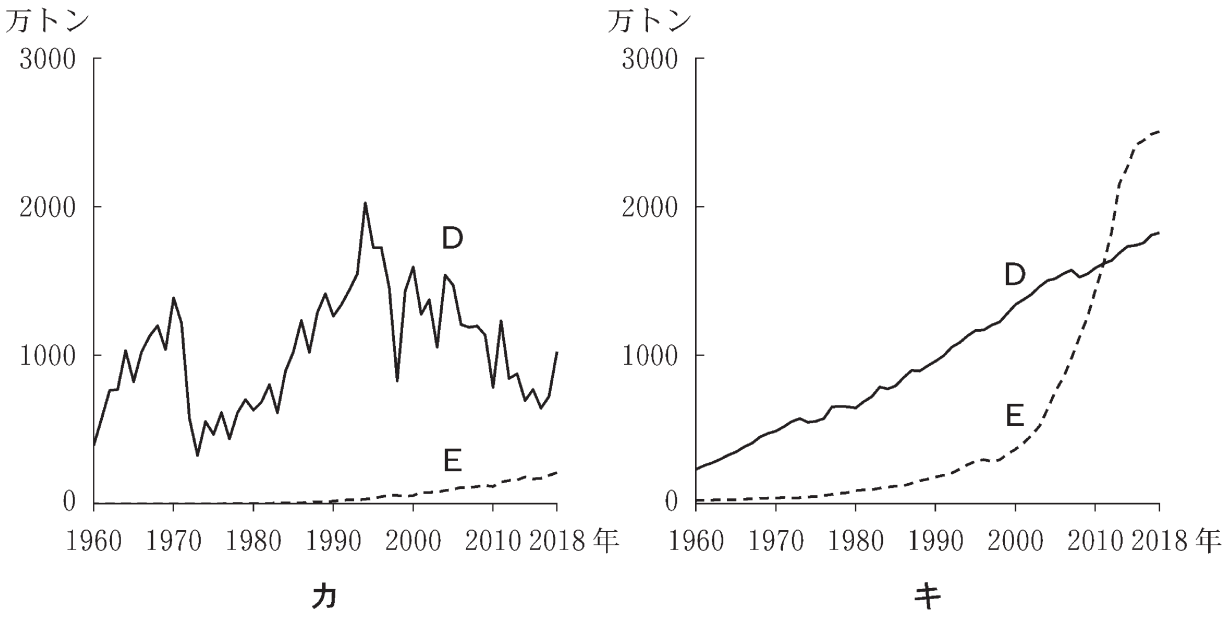
図 3

ツナ缶詰の主要な生産地をみると、インド洋の島嶼国<sup>とうしよ</sup>では、①原料の漁獲域に近いことをいかして、ツナ缶詰が生産されている。また、ヨーロッパでは、②市場に近い内陸国にツナ缶詰の工場が多く立地している。

ツナ缶詰の消費について考えると、アメリカ合衆国やスペインでは、③自国生産によって、国内需要のほとんどを充足しているといえる。また、西アジアや北アフリカでは、④伝統的な食文化を背景に、ツナ缶詰はほとんど消費されていない。

問 3 次の図 4 は、二つの地域における漁獲量\*と養殖業生産量の推移を示したものであり、力とキは、南アメリカの太平洋沿岸国\*\*と東南アジアのいずれかである。また、図 4 中の D と E は、漁獲量と養殖業生産量のいずれかである。南アメリカの太平洋沿岸国と漁獲量との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 9

\*養殖業生産量を含まない。  
 \*\*エクアドル，コロンビア，チリ，ペルー。



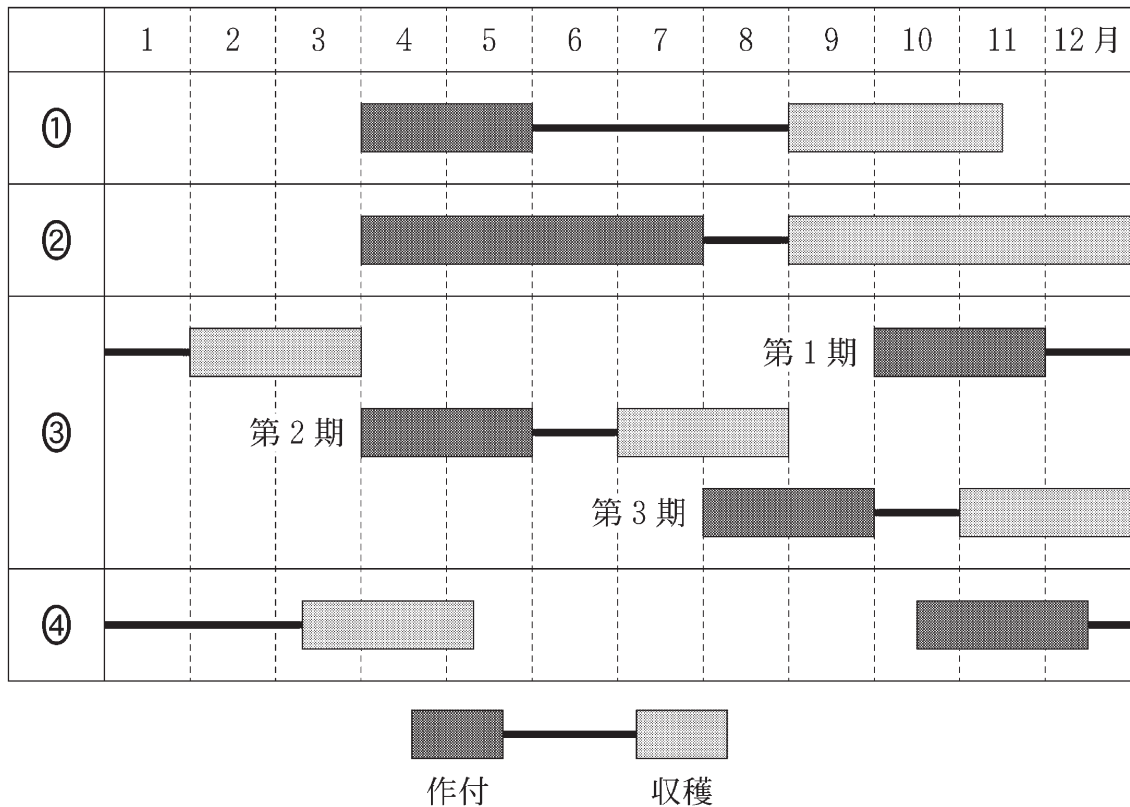
FAOSTAT により作成。

図 4

	①	②	③	④
南アメリカの太平洋沿岸国	力	力	キ	キ
漁獲量	D	E	D	E

問 4 次の図 5 は、いくつかの国における米の栽培カレンダーを示したものであり、①～④は、イタリア、インドネシア、コートジボワール、チリ\*のいずれかである。コートジボワールに該当するものを、図 5 中の①～④のうちから一つ選べ。 10

\*中南部。

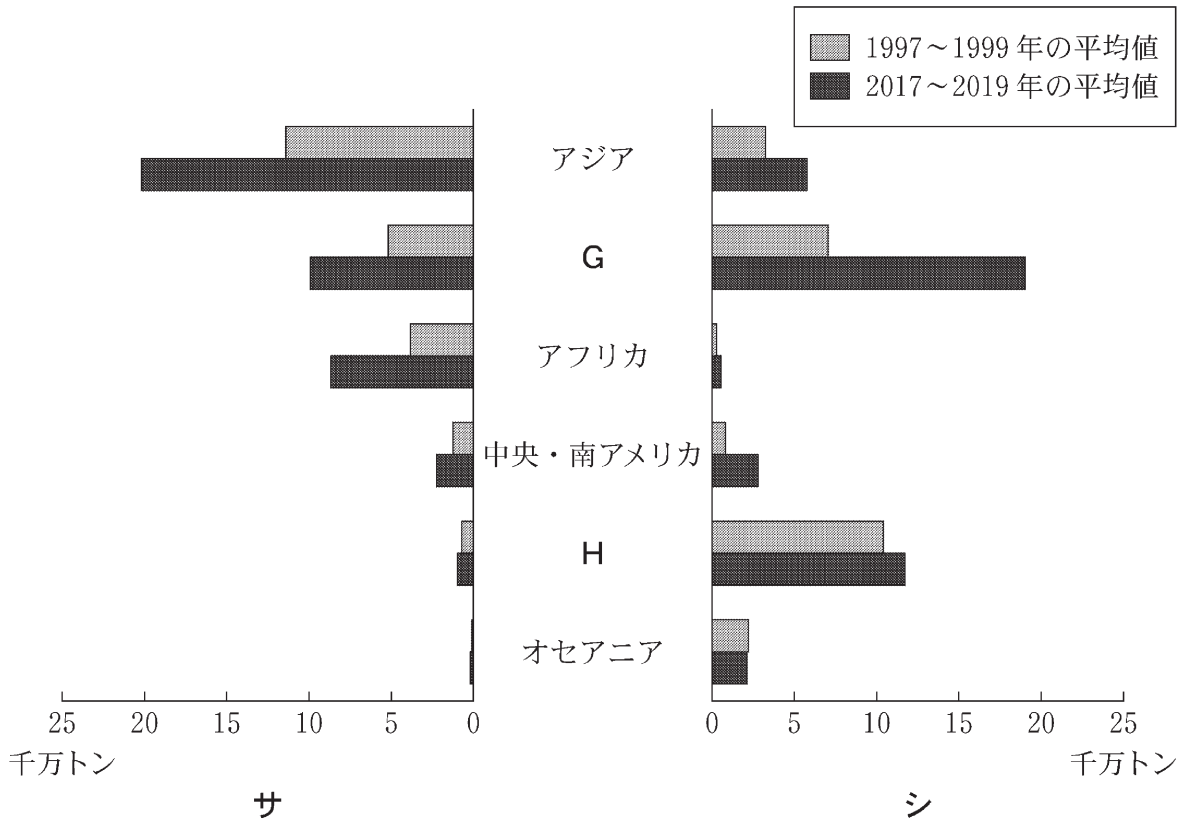


U.S. Department of Agriculture の資料により作成。

図 5

問 5 次の図 6 は、世界における穀物の輸出入量を地域別に集計\*したものであり、サとシは輸出品と輸入品のいずれか、GとHは北アメリカとヨーロッパのいずれかである。輸入品と北アメリカとの正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 11

\*同一地域内の各国間の輸出入量も含まれる。

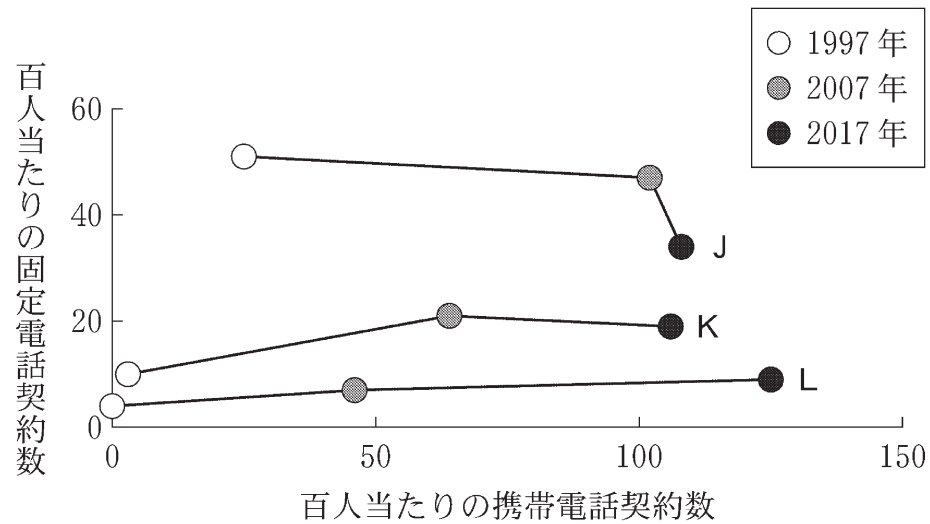


FAOSTAT により作成。

図 6

	①	②	③	④
輸入品	サ	サ	シ	シ
北アメリカ	G	H	G	H

問 6 次の図 7 は、携帯電話と固定電話について、いくつかの国における人口百人当たりの契約数の変化を示したものであり、J～Lは、オーストラリア、ブラジル、モンゴルのいずれかである。国名とJ～Lとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 12



World Development Indicators により作成。

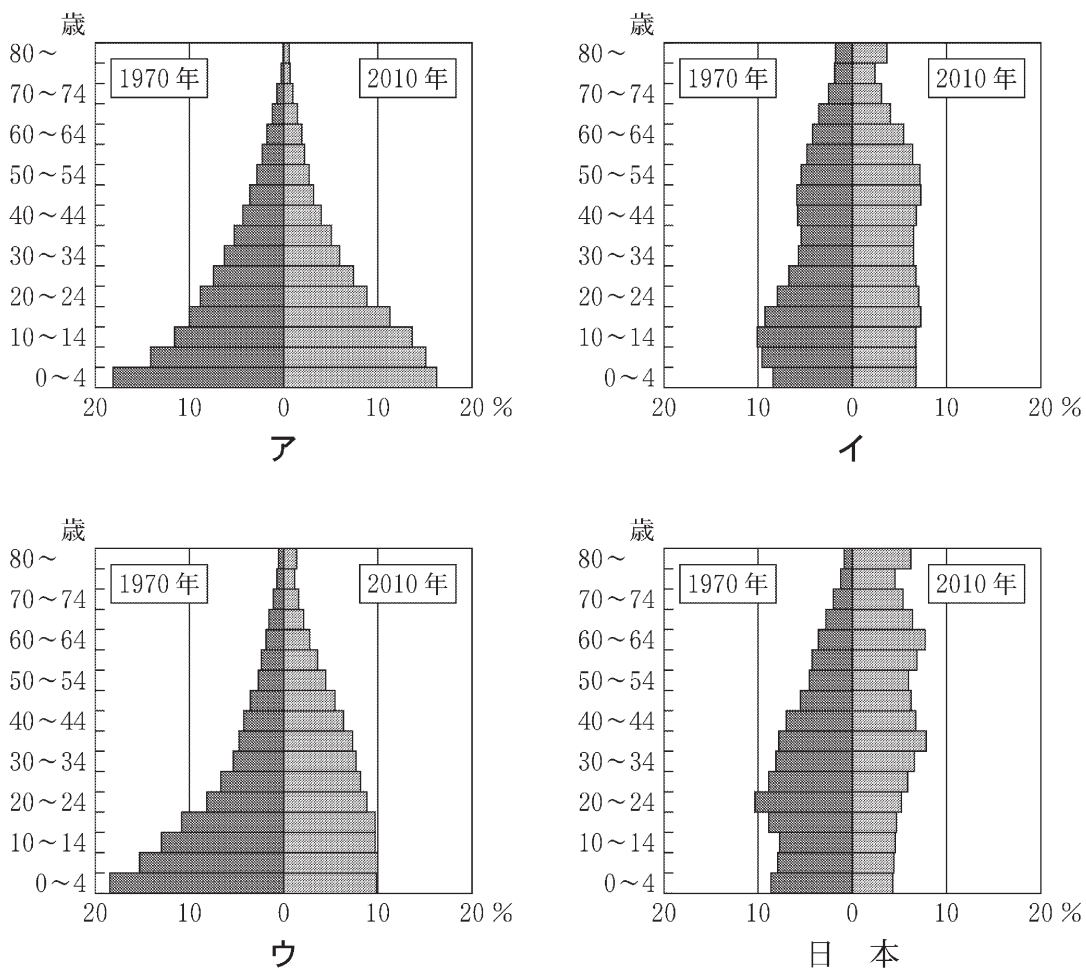
図 7

	①	②	③	④	⑤	⑥
オーストラリア	J	J	K	K	L	L
ブラジル	K	L	J	L	J	K
モンゴル	L	K	L	J	K	J

**第3問** 日本の人口や都市について、ユミさんたちが行った探究に関する次の問い  
(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 まず、ユミさんたちは、日本の人口動態や人口構成の特徴を世界と比較しながら考えた。次の図1は、日本を含む4つの国における1970年と2010年の年齢別人口構成を示したものである。また、後の資料1は、図1の国における出生率・死亡率の変化を示した4枚のカードと、それに関することがらをユミさんがメモしたものであり、カードA～Cは、図1中のア～ウのいずれかである。ア～ウとA～Cとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

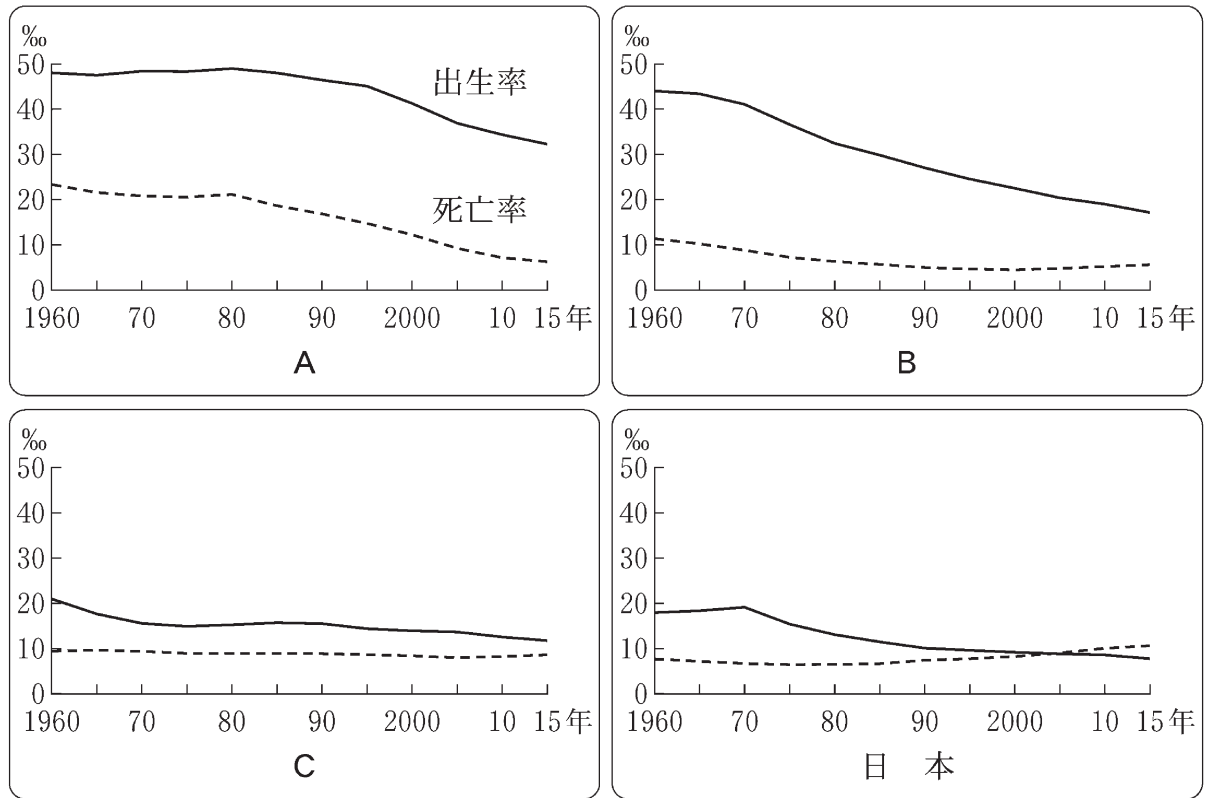
13



World Population Prospects により作成。

図 1

資料 1



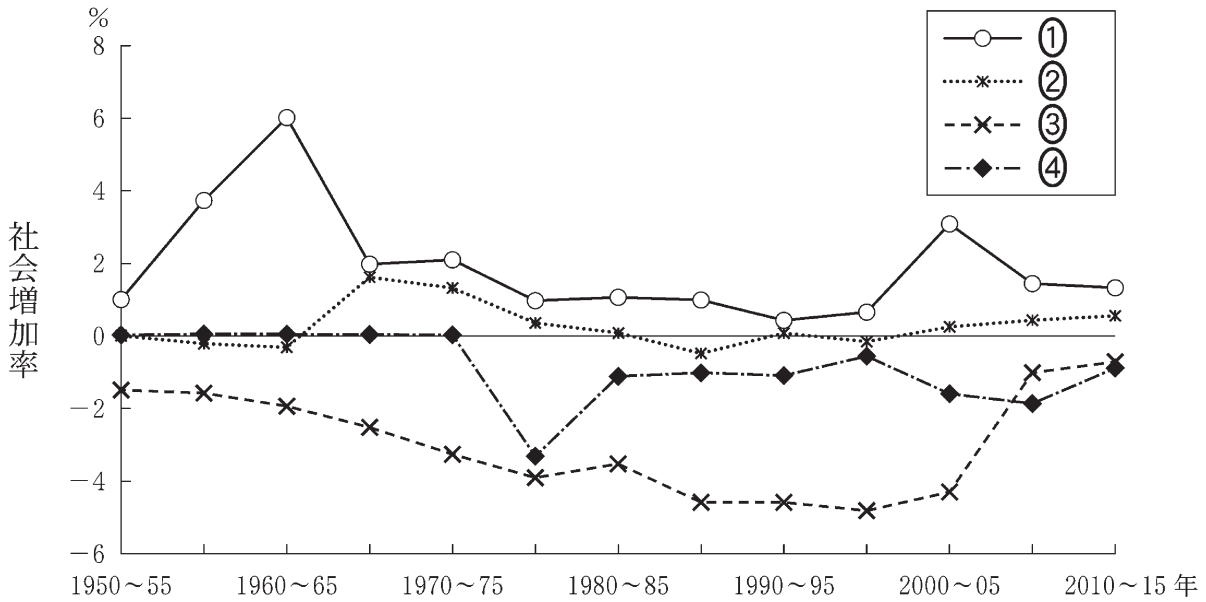
- ・出生率や死亡率は，国によって変化が様々である。  
→出生率の低下傾向は共通しているが，死亡率は上昇している国もある。
- ・日本は，出生率より死亡率が高くなっている。  
→人口は減少に転じている。少子高齢化も進行している。

World Population Prospects により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A



問 2 ハヤトさんは、国際的な人の移動によっても人口が変化することに注目し、いくつかの国における社会増加率の推移を調べ、日本と比較した。次の図2は、いくつかの国における社会増加率の推移を示したものであり、①～④は、日本、フランス、ベトナム、メキシコのいずれかである。日本に該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。 14



World Population Prospects により作成。

図 2

問 3 ユミさんは、いくつかの国における現在の合計特殊出生率について日本と比較し、その背景を考察した。ユミさんが考察した内容として下線部に誤りを含むものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① アメリカ合衆国の合計特殊出生率が日本より高い背景の一つとして、外国からの移民を多く受け入れてきたことがある。
- ② 韓国の合計特殊出生率が日本より低い背景の一つとして、大学進学率が高く、教育費の家計への負担が大きいことがある。
- ③ シンガポールの合計特殊出生率が日本より低い背景の一つとして、日本よりも早くから平均寿命が延びたことがある。
- ④ ノルウェーの合計特殊出生率が日本より高い背景の一つとして、日本よりも早くから少子化対策に取り組んだことがある。

問 4 先進国で少子化対策がとられてきたことを知ったハヤトさんは、取組みのための財源を国民がどのように負担しているかに注目した。次の表1は、いくつかの国における社会保障負担率\*と租税負担率\*\*を示したものであり、サ～スは、日本、アメリカ合衆国、デンマークのいずれかである。国名とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 16

\*医療保険や年金保険などの社会保障負担額を国民所得で除した値。

\*\*国税や地方税の合計である租税収入金額を国民所得で除した値。

表 1

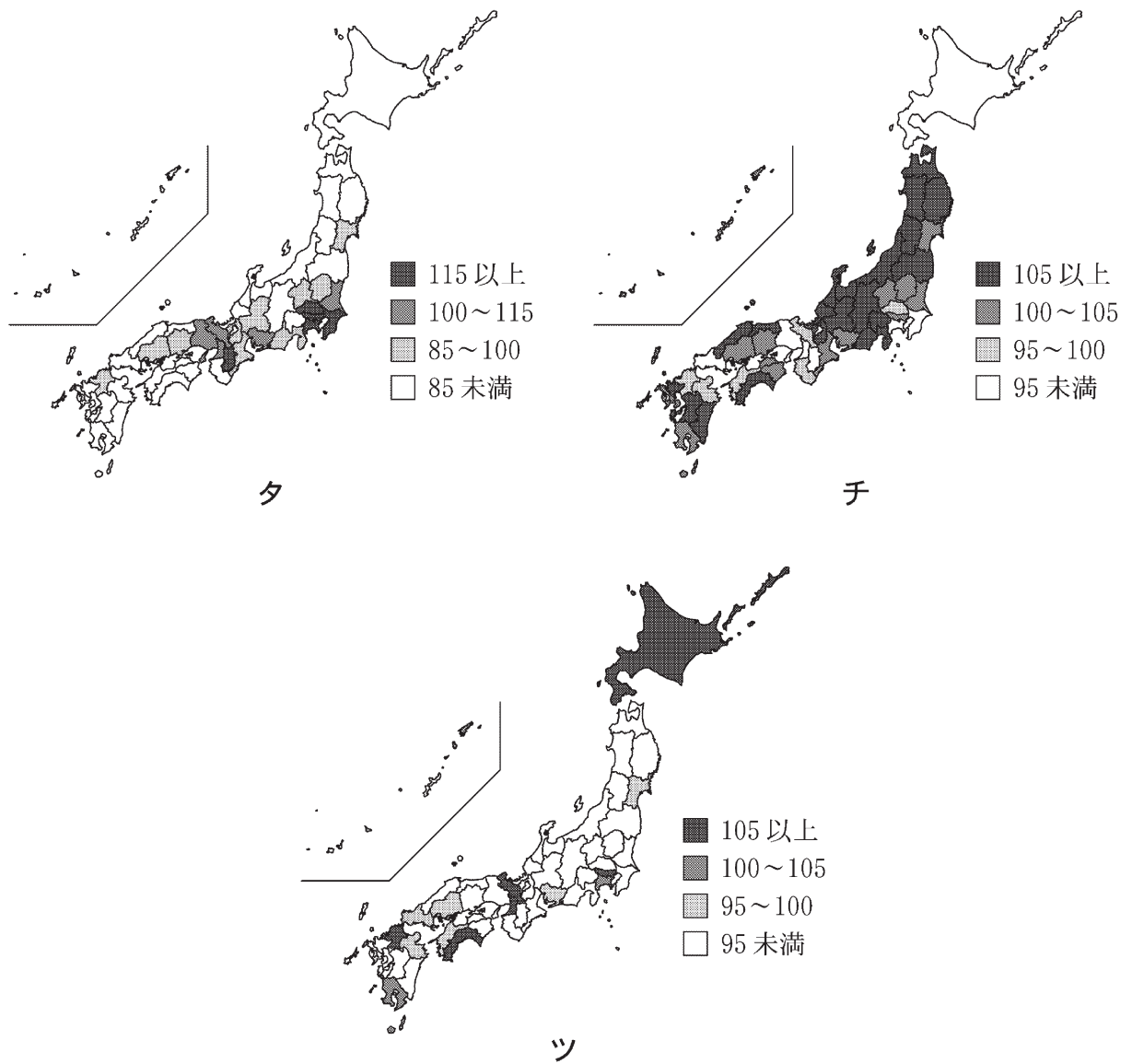
(単位：%)

	社会保障負担率	租税負担率
フランス	25.6	42.7
サ	18.2	26.1
シ	8.4	23.4
ス	1.2	61.9

統計年次は 2018 年。財務省の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
日本	サ	サ	シ	シ	ス	ス
アメリカ合衆国	シ	ス	サ	ス	サ	シ
デンマーク	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 5 子育て環境や出生率に日本国内でも地域差があることを知ったユミさんたちは、いくつかの指標を都道府県単位で調べた。後の図 3 中のタ～ツは、単独世帯の割合、夫婦共働き世帯の割合、平日の平均通勤・通学時間のいずれかについて、全国を 100 とした場合の各都道府県の値を示したものである。項目名とタ～ツとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 17



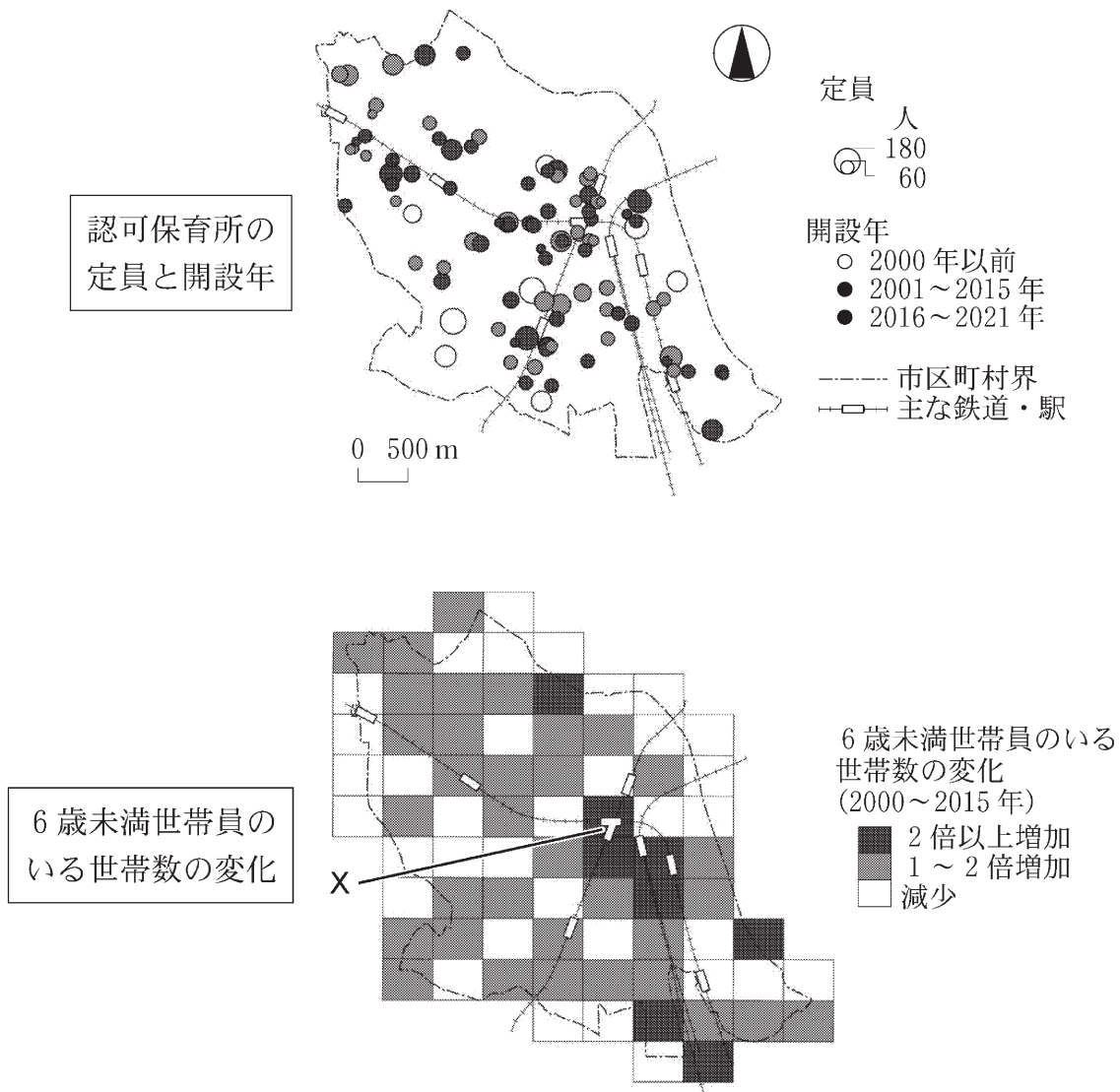
統計年次は、単独世帯の割合が2015年、夫婦共働き世帯の割合が2017年、平日の平均通勤・通学時間が2016年。国勢調査などにより作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
単独世帯の割合	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
夫婦共働き世帯の割合	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
平日の平均通勤・通学時間	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

問 6 ハヤトさんたちは、日本では保育サービス拡充によって待機児童問題の解消が図られていることを知り、東京大都市圏内のある地域における保育所の整備状況を調べた。次の図4は、地域内に立地する認可保育所\*の定員と開設年、および6歳未満世帯員のいる世帯数の変化を示したものである。図4を見て話し合ったハヤトさんたちと先生の会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。 18

\*施設の広さや職員数などで国が定める基準を満たし、認可を得て設置された保育所。



2021年の自治体の資料などにより作成。

図 4

先生 「この地域では人口の増加が続いていて、東京都区部などへ鉄道で通勤する人が多くみられます。保育所もたくさんあるようですが、保育所の立地にはどのような傾向がありますか」

ハヤト 「鉄道駅の付近に、保育所が集中して立地しているようです。なぜそのような傾向になるのでしょうか」

ユミ 「① 鉄道で通勤する人が子どもを預ける際の利便性を考えると、駅付近の保育所が利用しやすいと思います」

ハヤト 「駅 X から半径 500 m 以内の地域には、② 就学前の子どものいる世帯が 2000 年から 2015 年にかけて 2 倍以上増加したところがあり、保育所の需要が高まっていると思います」

先生 「保育所の開設年や定員数について、何か特徴はあるでしょうか」

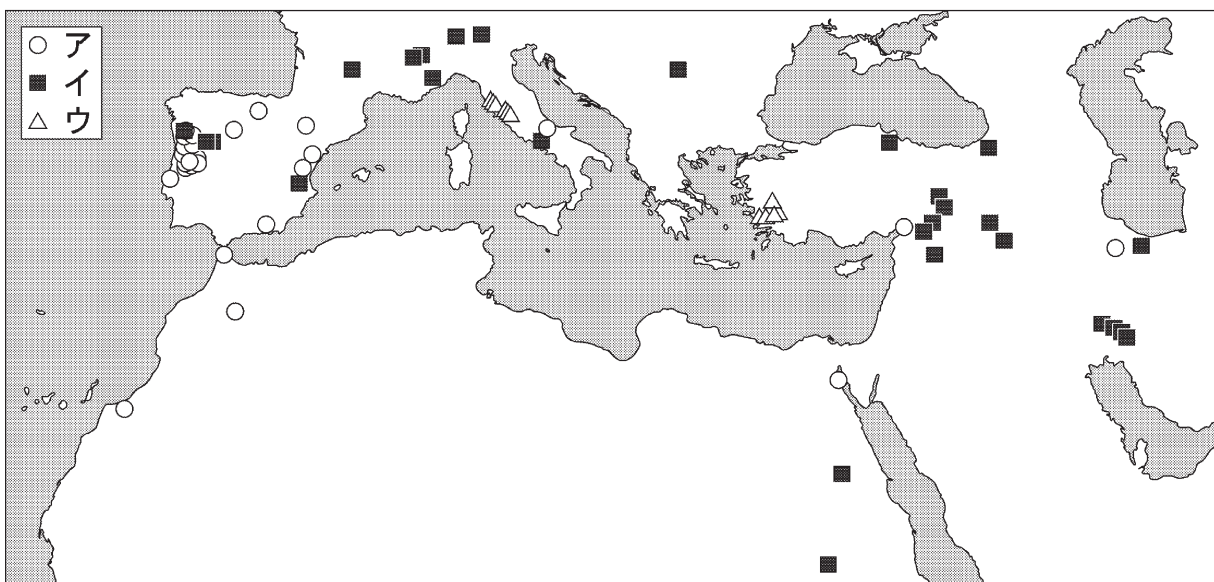
ユミ 「③ 2001 年以降に開設された保育所が過半数ですが、特に 2016 年以降に開設のペースが加速しているようです」

ハヤト 「④ 定員の多い保育所は、就学前の子どものいる世帯が、2000 年から 2015 年にかけて 2 倍以上増加した地域に立地する傾向があるようです。待機児童問題の解消に向けた取組みが進んでいるのだと思います」

**第4問** 地中海を囲む北アフリカ、西アジア、ヨーロッパは、経済や歴史・文化など、様々な面で結びついている。地中海周辺の地域に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 20)

A 地中海周辺の地域の自然と社会に関する次の問い(問1～4)に答えよ。

問1 地中海周辺の地域では、自然環境をいかして様々な自然エネルギーが発電に利用されている。次の図1は、主な発電施設をエネルギー源別に示したものであり、凡例ア～ウは、水力、地熱、風力のいずれかである。エネルギー源とア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 19



地図の範囲内における発電能力の上位30か所。同種の発電施設が集積している地点は、記号を重ねて示している。Global Power Plant Databaseにより作成。

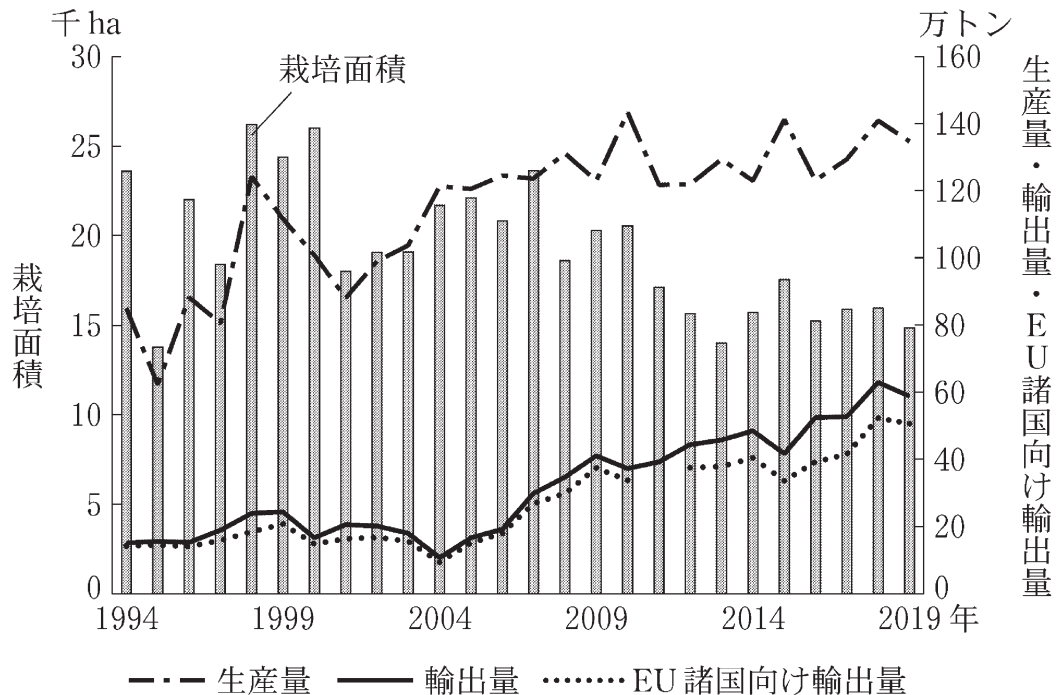
図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
水 力	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
地 熱	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
風 力	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア



問 2 北アフリカの農業には、ヨーロッパとの結びつきがみられる。次の図 2 は、モロッコにおけるトマトの栽培面積と、生産量、輸出量、EU 諸国向け輸出量\*の推移を示したものである。図 2 に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないものを一つ選べ。** 20

\*各年における EU 加盟国の合計値。2011 年はデータなし。



FAOSTAT により作成。

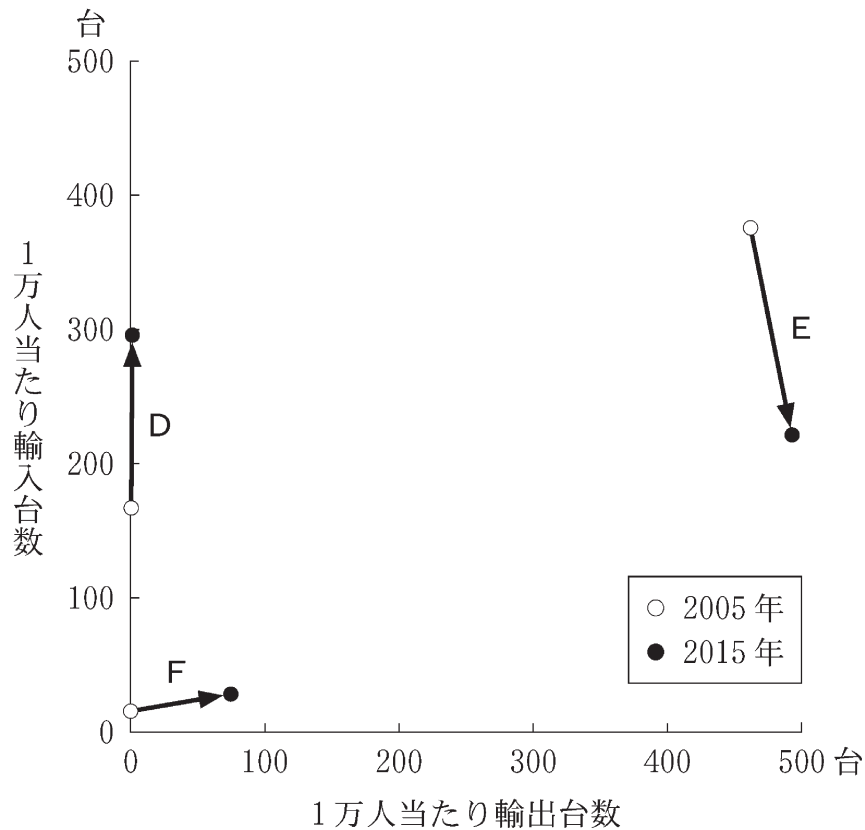
図 2

モロッコは、世界有数のトマトの輸出国であり、アルプス以北のヨーロッパ諸国に多くの生鮮トマトを輸出している。その背景には、①輸出先との気温や日照時間の違いをいかして、トマトが生産されてきた点があげられる。特に、1990 年代以降に EU やヨーロッパ諸国との経済連携協定の締結が進むと、②国外からの投資が増加し、2000 年代後半以降に輸出量が増えた。

1994 年と 2019 年を比較すると、モロッコでは、③トマト生産における土地生産性が向上した。また、輸出量全体に対して、④EU 諸国向けの輸出の割合が高まったことがわかる。

問 3 次の図 3 は、2005 年と 2015 年における、いくつかの国の完成乗用車\*の 1 万人当たり輸出台数と輸出台数を示したものであり、D～F は、イスラエル、スペイン、モロッコのいずれかである。国名と D～F との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

\*トラック、バスを除く。



UN Comtrade により作成。

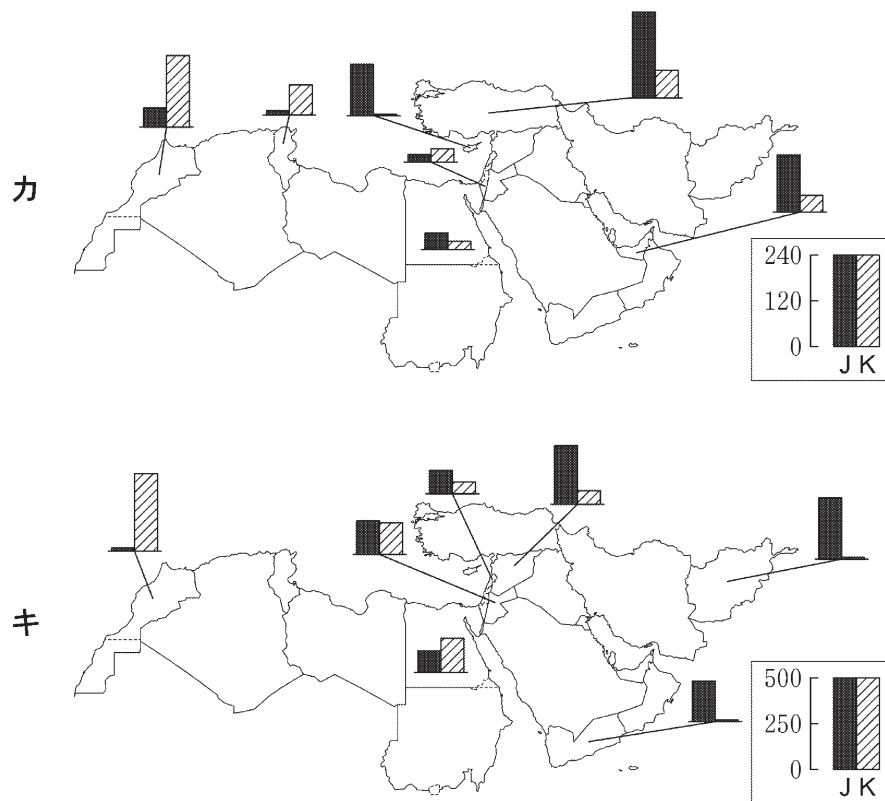
図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
イスラエル	D	D	E	E	F	F
スペイン	E	F	D	F	D	E
モロッコ	F	E	F	D	E	D

問 4 地中海周辺の地域の多様なつながりは、人や資金の流れからもみえてくる。

次の図 4 は、北アフリカと西アジアの国々における、イギリスとフランスからの 2018 年の観光客数と国際援助額について示したものである。図 4 中のカとキは観光客数と国際援助額のいずれか、凡例 J と K はイギリスとフランスのいずれかである。国際援助額とフランスとの正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

22



単位は、観光客数は1万人、国際援助額は100万ドル。観光客数と国際援助額について、イギリスとフランスの合計値の上位7か国とその内訳を示している。

UNWTO の資料などにより作成。

図 4

	①	②	③	④
国際援助額	カ	カ	キ	キ
フランス	J	K	J	K

B 地中海に面したスペインとチュニジアは、地中海周辺の地域の文化や経済の特徴が表れている。両国に関する次の問い(問5～6)に答えよ。

問5 次の図5に示したスペインのセビリヤとチュニジアのチュニスでは、類似した都市景観がみられる。後の写真1は、両都市の中心部を撮影した衛星画像と、旧市街を撮影した景観写真である。写真1に関することからについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。 23

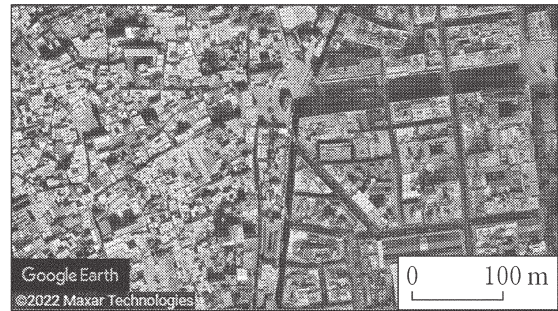
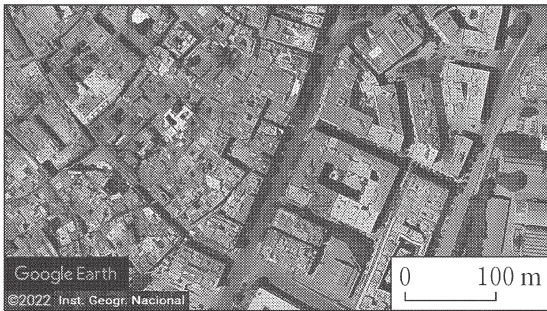


図 5

セビリヤ

チュニス

衛星画像



景観写真



写真：Alamy/アフロ

写真：富井義夫/アフロ

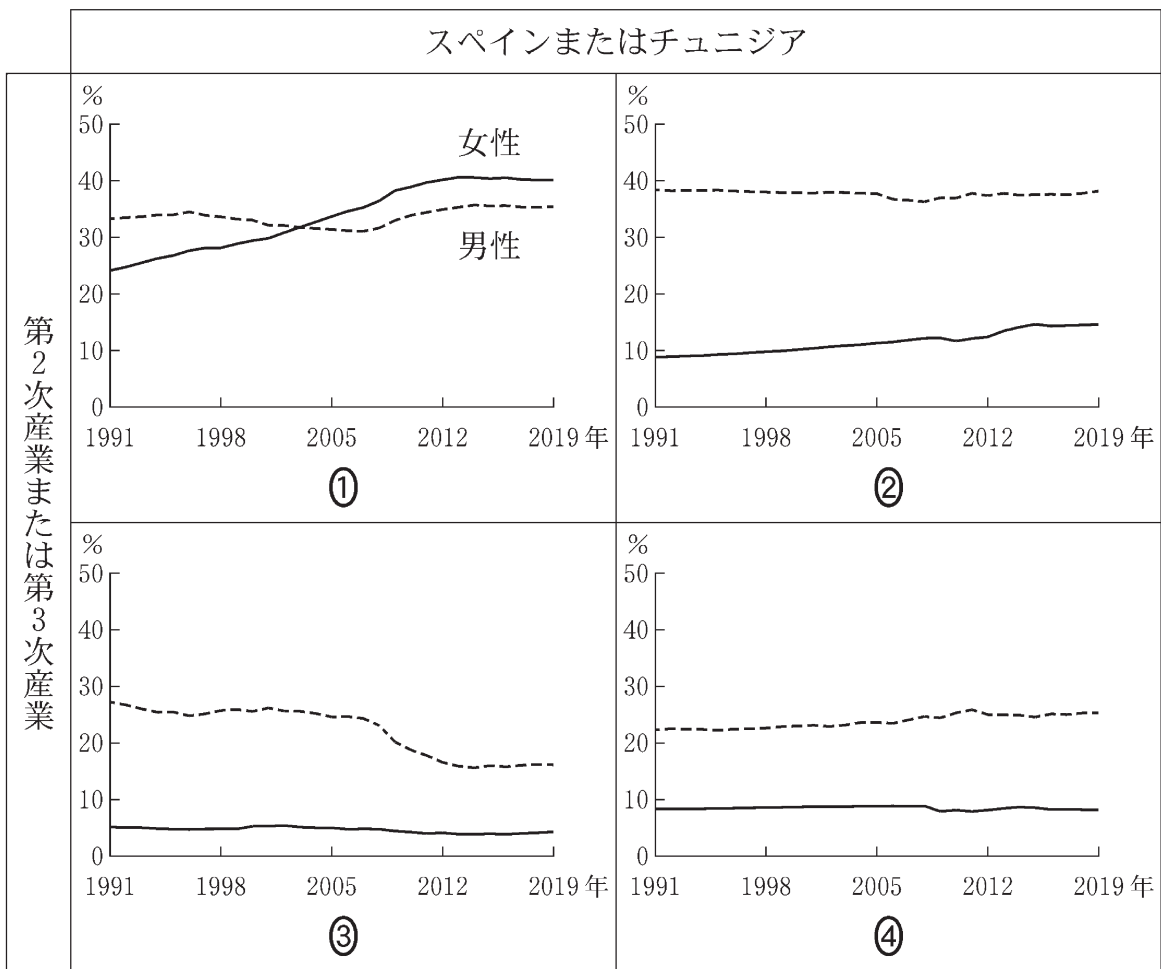
チュニスの景観写真は、著作権の都合上、類似の写真に差し替え。

写真 1

セビリヤとチュニス、①都市中心部がともに旧市街と新市街に分かれている。両都市の旧市街では、イスラーム世界における都市形成の歴史を反映して、②衛生環境を向上させるために道の幅を広くし、風通しをよくしている。

セビリヤは、③夏季には冬季よりも多くの国際観光客が訪れる観光地であるとともに、旧市街は市民生活の場となっている。チュニスの旧市街では、④日用品を扱う店舗が立地する市場が現存し、住民の日常生活を支えている。

問 6 次の図 6 は、スペインとチュニジアについて、全就業人口に占める産業別・男女別の就業人口割合の推移を示したものである。チュニジアの第 3 次産業を示す図に該当するものを、図 6 中の①～④のうちから一つ選べ。 24



第 1 次産業は示していない。ILOSTAT により作成。

図 6



**第5問** 香川県高松市の高校に通うセイラさんたちは、高知県須崎市周辺の地域調査を行った。この地域調査に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 次の写真1のニホンカワウソをモチーフにしたキャラクターに興味をもったセイラさんたちは、須崎市の位置する高知県の特徴を考えるために、高知県と香川県から東京都、愛知県、大阪府、福岡県への公共交通機関別の旅客数を調べ、図1を作成した。図1中の凡例ア～ウは、航空、鉄道、バスのいずれかである。公共交通機関名とア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

25

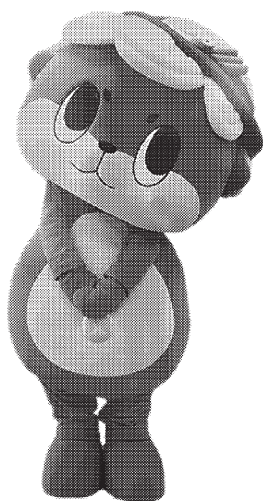
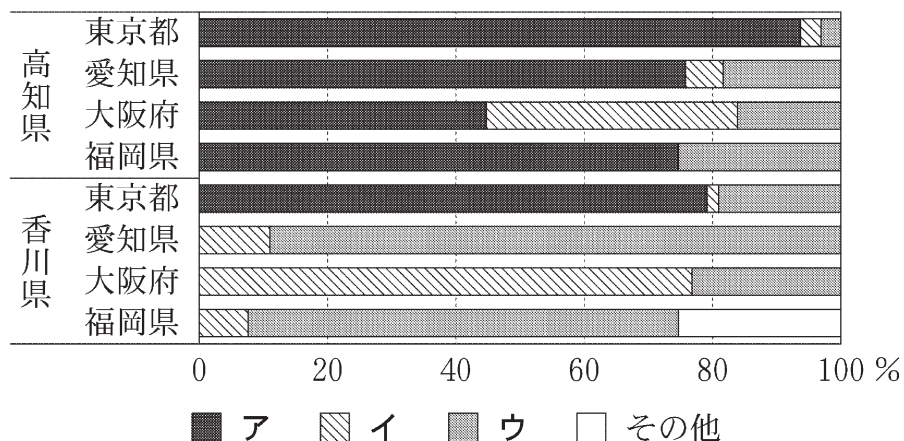


写真 1



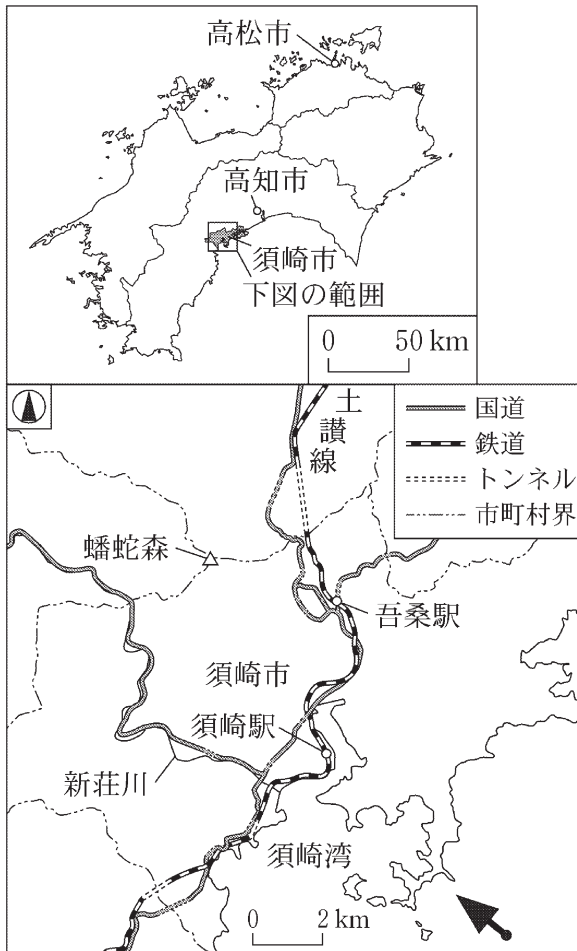
統計年次は2019年。国土交通省の資料により作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
航空	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
鉄道	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
バス	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

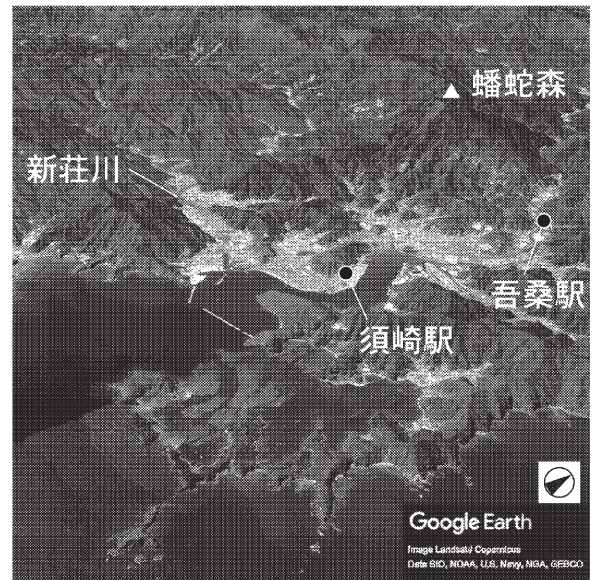
問 2 ニホンカワウソが新<sup>しんじょう</sup>莊川沿いにかつて生息していたことに関心をもったセイラさんたちは、次の図 2 と図 3 を作成した。図 3 は、図 2 中の矢印の方向の景観を立体的に示したものである。図 2 と図 3 に関することがらについて述べた文として**適当でないもの**を、後の①～④のうちから一つ選べ。

26



地理院地図により作成。

図 2



Google Earth により作成。

図 3

- ① 須崎湾から北西に伸びる国道は、大部分が新莊川につくった谷を通る。
- ② 須崎湾周辺では、沈水地形がみられる。
- ③ 土讃線の吾桑駅は、砂州上に位置している。
- ④ 蟠蛇森から吾桑駅にかけての斜面は、新莊川の流域には含まれない。



問 3 ニホンカワウソが絶滅種に認定されていることを知ったセイラさんたちは、絶滅の主な要因を次の資料 1 にまとめ、人間活動の影響について調べることにした。まずセイラさんたちは、資料 1 に示した「市街地の拡大」に着目した。後の文章は、図 4 で示した須崎市中心部の 1936 年と 2017 年に発行された 2 万 5 千分の 1 地形図(原寸，一部改変)に関することがらを、セイラさんたちがまとめたものである。図 4 に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、最も適当なものを一つ選べ。

27

資料 1

**ニホンカワウソとは？**


- ・生態系の上位捕食者
- ・かつて日本各地の山・川・海に生息

**絶滅までの経緯**

- ・明治期以降 乱獲，密猟
- ・1928年 捕獲禁止令
- ・1979年 新荘川で最後の目撃
- ・2012年 絶滅種に認定

**絶滅にかかわる要因**

- ◆人間活動の影響
  - ・「市街地の拡大」
  - ・「農業の近代化」
  - ・「自然災害への対策」
  - ⋮
- ◆自然の影響



佐藤・加藤(2013)などにより作成。

1936 年から 2017 年の間に、須崎市中心部では大きく土地利用が変化した。この間に沿岸部では、① 富士ヶ浜が埋め立てられ、その埋立地上に鉄道が延伸された。 須崎港の沿岸は埋め立てられたほか、湾奥部には、② 斜面に盛土してセメント工場が建てられた。 内陸部では、市街地が須崎駅の西側に拡大し、③ 池ノ内の水田地帯では、ため池が完全に埋め立てられ、道路がつけられた。 ④ 池山の北側には、いくつかの公共施設が建てられ、新たな住宅地が広がった。

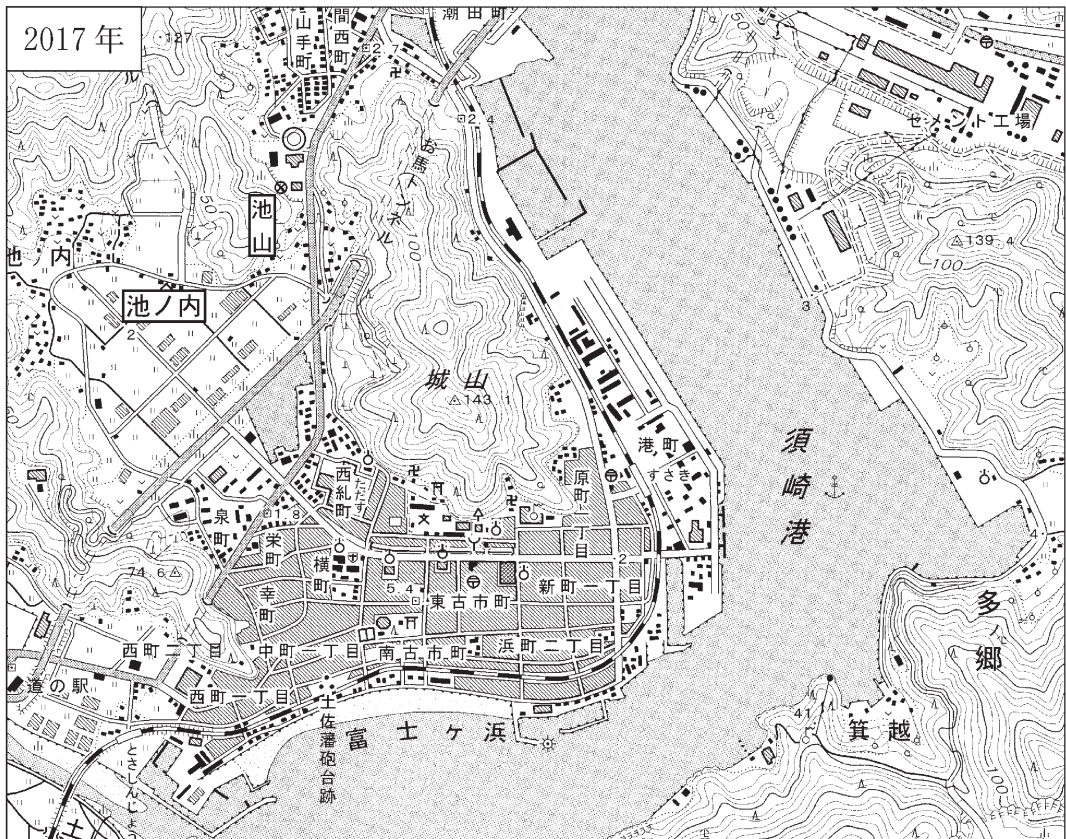


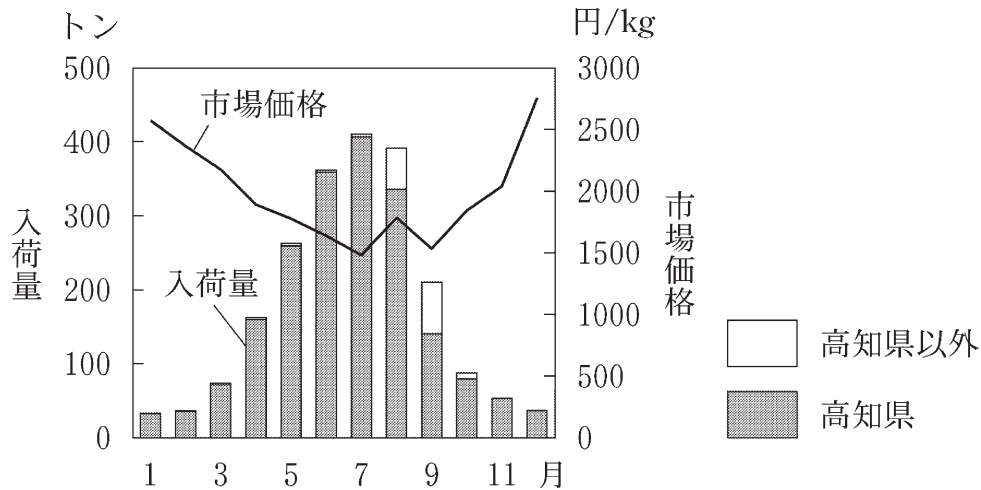
図 4

問 4 次にセイラさんたちは、資料 1 に示した「農業の近代化」に注目し、須崎市と高知県の農業の現状について調べ、次の資料 2 にまとめた。資料 2 中の表は、須崎市と高知県における主な野菜の品目別作付面積と産出額を示したものである。また、資料 2 中の図は、東京都中央卸売市場におけるミョウガの生産地別入荷量と市場価格の月ごとの変化を示したものである。資料 2 に関することからについて述べた文として**適当でないもの**を、後の①～④のうちから一つ選べ。

28

資料 2

		ミョウガ	キュウリ	ショウガ	ナス	野菜合計
作付面積 (ha)	須崎市	70	25	6	0	123
	高知県	108	117	434	245	2,029
産出額 (億円)	高知県	94	71	100	135	715



統計年次は 2019 年。農林水産省の資料などにより作成。

- ① 高知県では、ミョウガの単位面積当たり産出額が、キュウリよりも高い。
- ② 須崎市は、高知県全体に比べミョウガとショウガの生産に特化している。
- ③ ミョウガの市場価格は、入荷量の少ない時期に高くなる傾向がある。
- ④ ミョウガの生産地別入荷量は、1年を通して高知県産が過半数を占める。



問 5 セイラさんたちは、資料 1 に示した「自然災害への対策」について、須崎市周辺でみられる津波への対策事例の写真とその目的を次の資料 3 にまとめた。津波への対策の目的として下線部に誤りを含むものを、資料 3 中の下線部①～④のうちから一つ選べ。

29

資料 3

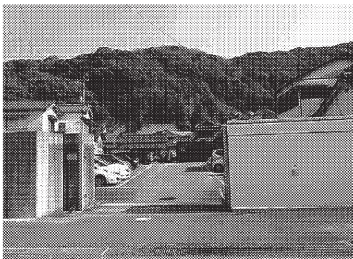


写真

河川の河口部にある水門

目的

① 津波の際に、河川の周辺住民が一時的に避難すること



写真

集落の海沿いにある堤防

目的

② 津波の際に、ゲートを閉め、堤防より陸地側の建物の被害を軽減すること

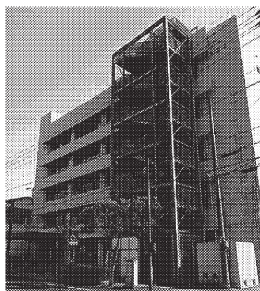


写真

集落内の津波に関する石碑

目的

③ 津波が石碑の地点まで到達したことを後世に伝えること



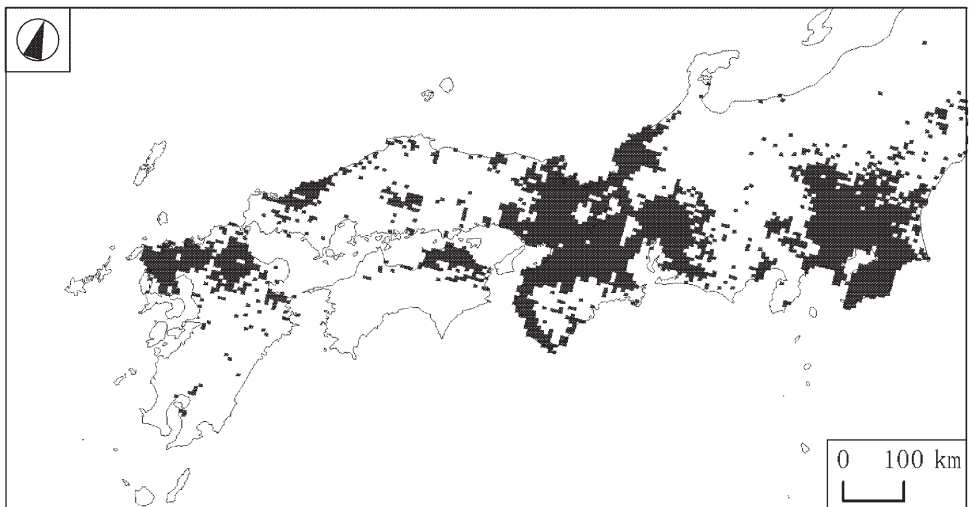
写真

市街地内のビルの外壁に付けられた、幅が広く傾斜がゆるい階段

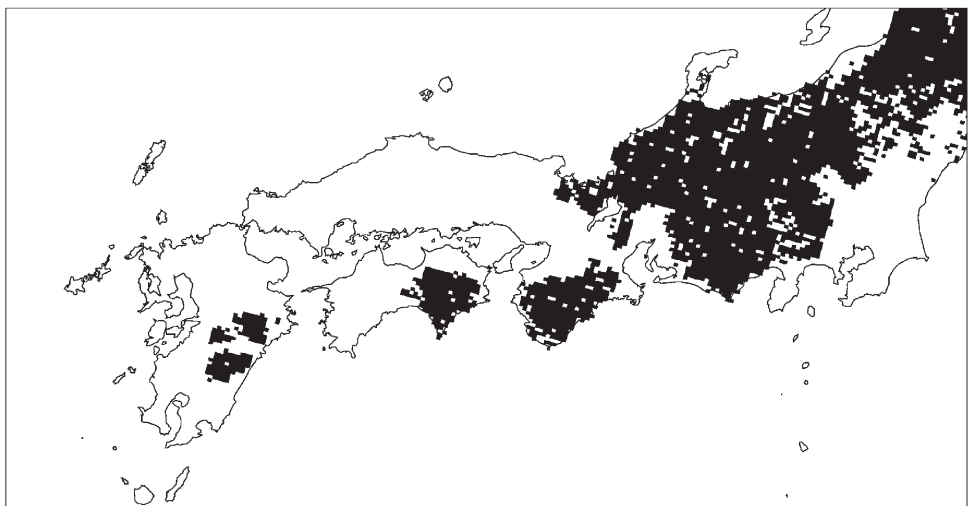
目的

④ 津波の際に、高台まで避難できない周辺住民が緊急に避難すること

問 6 セイラさんたちは、調査のまとめとして、次の図 5 を見ながら生物多様性について話し合った。図 5 は、日本の在来種のカモシカと外来種のアライグマの生息分布を 5 km メッシュで示したものであり、図 5 中のカとキは、カモシカとアライグマのいずれかである。また、後の会話文中の空欄 a にはカとキのいずれか、下線部 b に関する取組みの具体例には後の X と Y のいずれかが当てはまる。空欄 a に当てはまる分布図と、下線部 b に関する取組みの具体例との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 30



カ



キ

統計年次は、アライグマが 2017 年、カモシカが 2018 年。  
環境省の資料により作成。

図 5

セイラ 「ニホンカワウソの絶滅には、乱獲や人間活動の拡大が大きく影響していたね。生物多様性の減少には、ほかにどのような理由があるかな」

ショウ 「人間がペットとして持ち込んだ外来種が在来種の生息をおびやかして、生物多様性に影響を与えていそうだね。図5のカモシカとアライグマの生息分布図を比較すると、( a )がアライグマだと判断できるね」

サ ナ 「ほかに、b 人間の自然への働きかけによって長らく保たれてきた生物多様性についても、働きかけを続けていくことが課題となっているよ」

セイラ 「生物多様性を考えるには、自然と人間との関係についてもっと深く学んでいく必要があるね」

#### 下線部 b に関する取組みの具体例

X 石灰石の採掘のために斜面が削り取られた日本の山において、植生を回復させるための植林ボランティアに参加する。

Y 野焼きによって維持されてきた日本の草原において、担い手が少なくなった野焼き作業のボランティアに参加する。

	①	②	③	④
a	カ	カ	キ	キ
b	X	Y	X	Y